

予防接種の実施状況について

福岡市

目次

● 福岡市について

● 実施状況

- － 実施人数の推移
- － 種類別の接種率
- － 接種機関別の実施人数
- － 決算額の推移
- － 各種申請の受付状況

● 広報

- － 平成29年度 広報計画
- － 予防接種手帳

● 市医師会との連携

● 実務

- － 予防接種記録の管理
- － 例月の委託料支払処理の流れ

● マイナンバー制度への対応状況

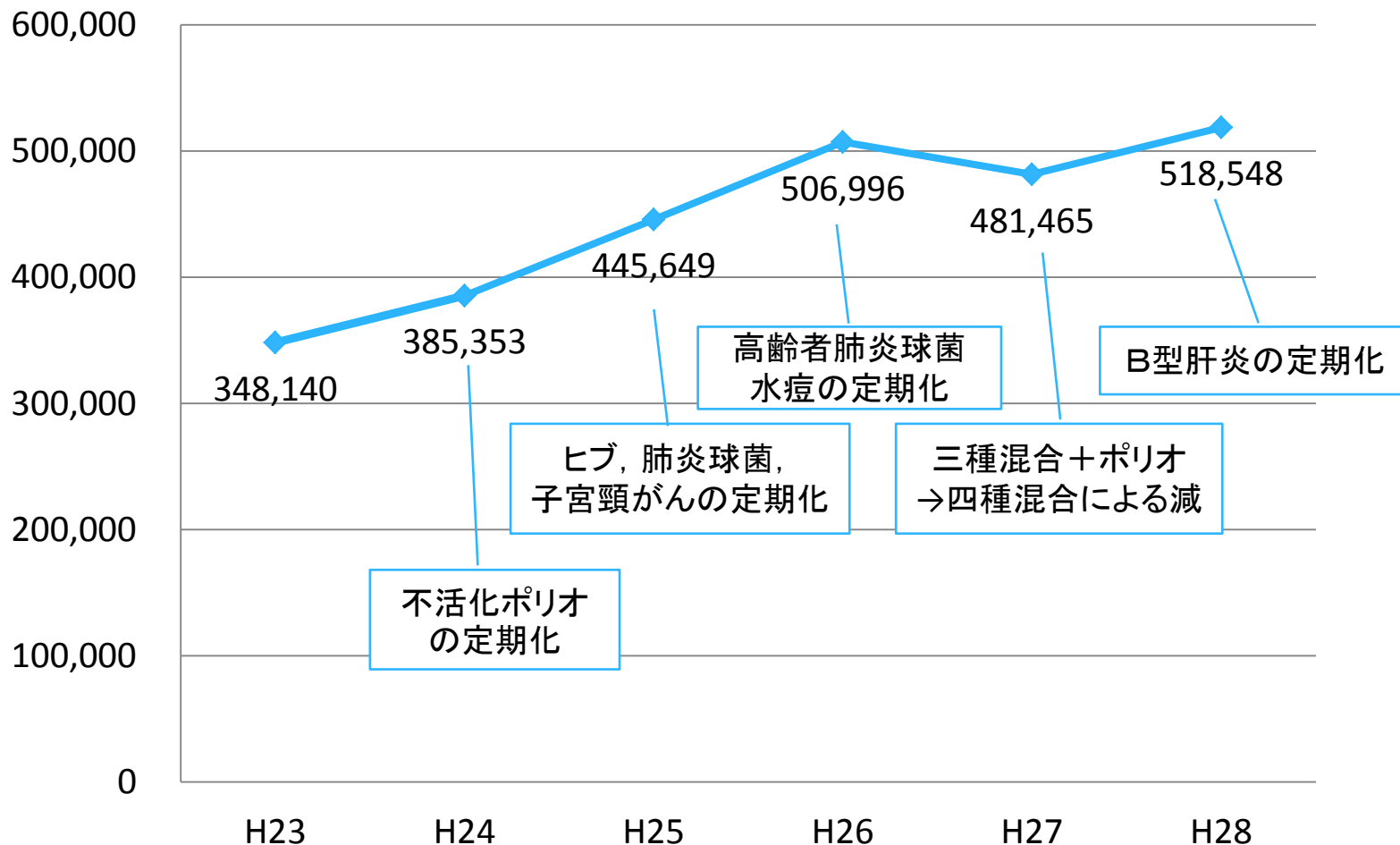
福岡市について

※平成29年7月末時点

- 人口 : 約152.4万人
- 0歳児人口 : 14,027人
- 65歳以上の高齢者数 : 319,518人(高齢化率21%)
(参考:国の高齢化率=27.3%(H28.10.1時点))
- 保健所設置数 7
(7区それぞれに設置)

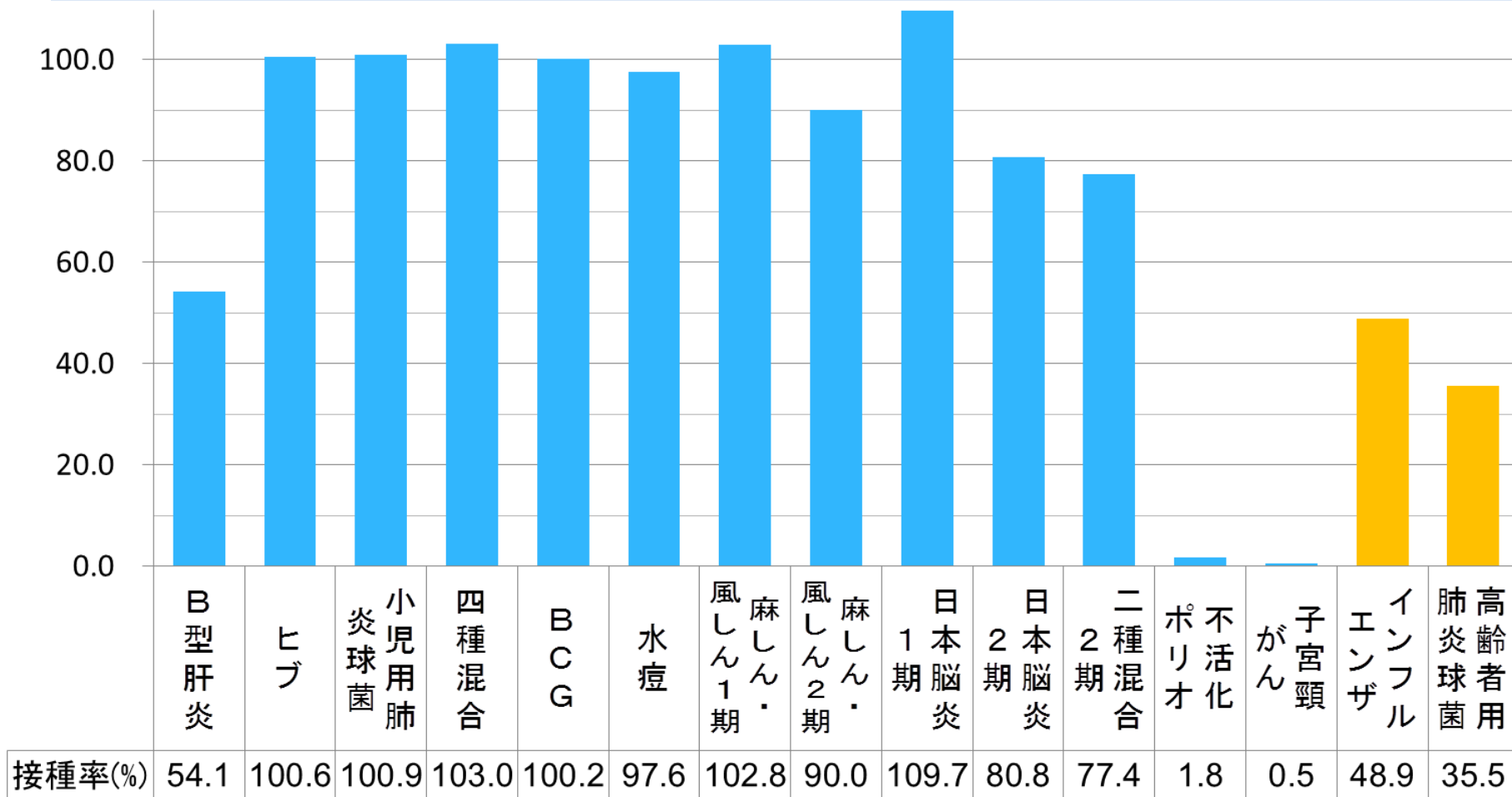
定期予防接種の実施状況

実施人数(人)



- 定期予防接種の種類増に伴い, 増加傾向
- H29年度はB型肝炎の定期化後1年となるため, さらに増加する見込み

種類別の接種率



- 1期接種(相当)分の接種率は概ね95%以上
- 100%超の理由は、転出入により年間を通して対象年齢の子に増減があるため
- 子宮頸がんワクチンは勧奨差し控えにより、平成28年度 100件

接種を行う機関

① 福岡市内の指定医療機関

市医師会への委託により、指定医療機関で接種を無料で行う

② 福岡県内の指定医療機関(広域接種)

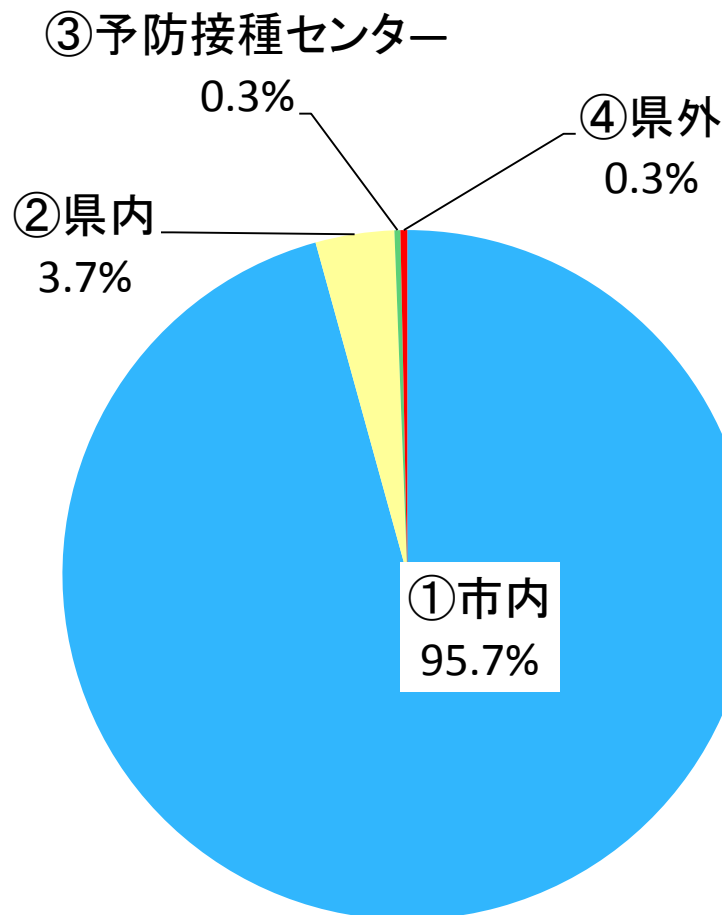
福岡県定期予防接種広域化により、指定医療機関で接種を無料で行う

③ 福岡県予防接種センター

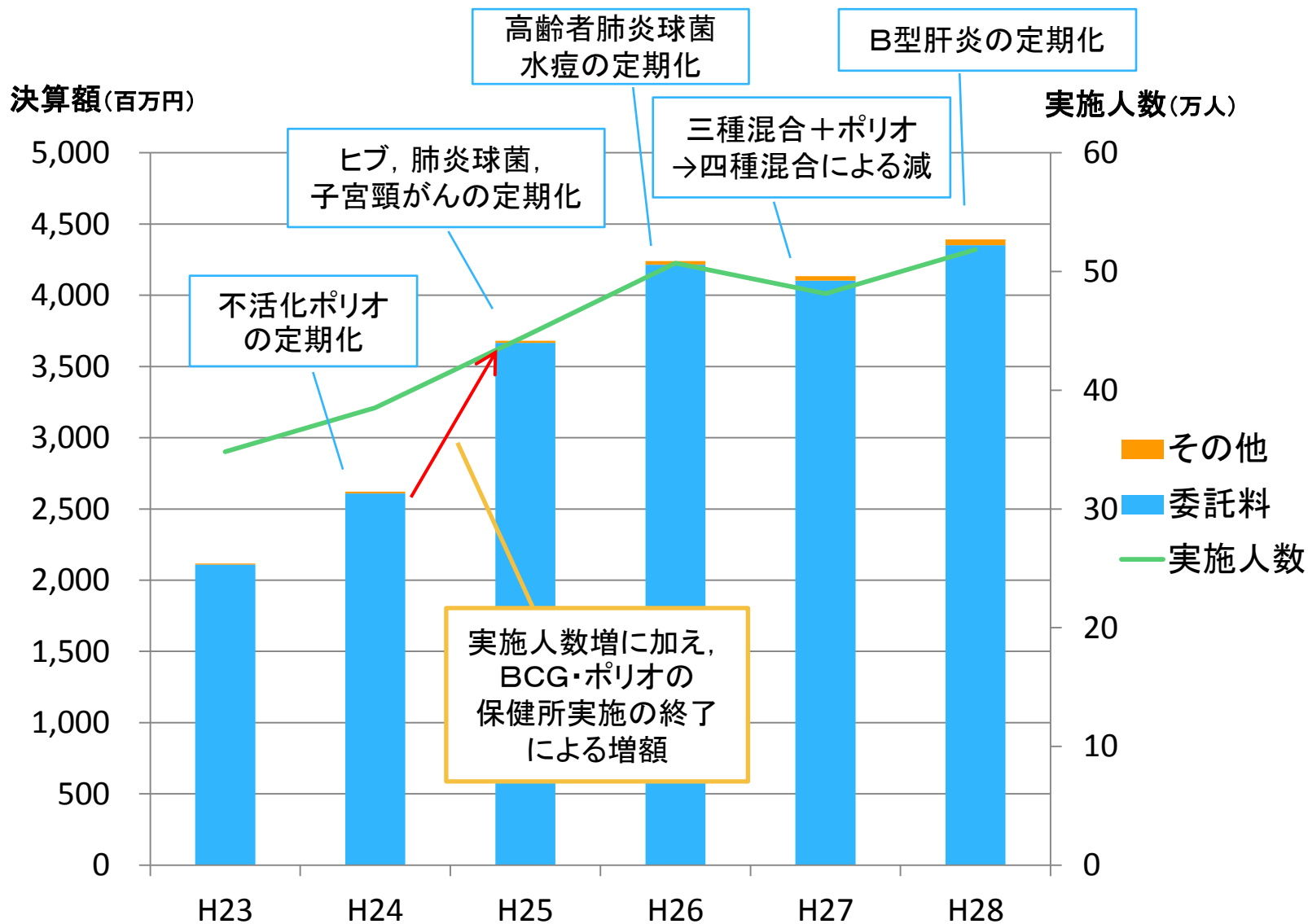
県医師会との契約により、予防接種要注意者の接種を無料で行う

④ 福岡県外(里帰り先等)の医療機関

事前に被接種者が予防接種実施依頼書を発行することで、福岡県外の医療機関での接種費用の償還払いを行う
(福岡市医師会への委託単価を上限とする)



決算額の推移



各種申請の受付状況

●県外接種の償還払い

(件・円)

	H27	H28	H29(見込)
件数	1,047	1,651	1,711
金額	9,962,689	15,193,890	15,208,468

※平成27年4月 制度開始

●長期療養者の特例

(件)

	H25	H26	H27	H28
件数	11	22	21	27

※平成25年2月 制度開始

平成29年度 広報計画①

● 個別通知(対象者の自宅へ送付)

時期	対象者	予防接種の種類
毎月	生後2か月となる子	A類全て【予防接種手帳】
毎月	生後4か月となる子 生後10か月となる子	BCG
5月下旬	65歳から5歳刻みの 市民全て	高齢者用肺炎球菌
7月上旬	高校3年生	日本脳炎 2期(特例措置)
2月中旬	幼稚園等の年長児	MR 2期・日本脳炎 1期(未接種者)
	小学6年生	日本脳炎 2期・二種混合 2期(未接種者)

● 学校等を通じての勧奨

時期	対象者	予防接種の種類
7月上旬	幼稚園等の年長児	MR2期
	小学3・4年生	日本脳炎 2期
	小学6年生	二種混合 2期
11月中旬 就学時健診時	幼稚園等の年長児	MR 2期・日本脳炎 1期・四種混合

● 市政だより

時期	対象者	予防接種の種類
4月 1日号	市民全般	予防接種についての特集
10月 1日号	市民全般	高齢者用インフルエンザ
2月15日号	市民全般	高齢者用肺炎球菌
3月 1日号	市民全般	子どもの予防接種週間について

● その他

時期	手段	予防接種の種類
通年	福岡市HP	全て
5月下旬	医療機関にて ポスター掲示	高齢者用肺炎球菌
10月上旬		高齢者用インフルエンザ

予防接種手帳

● 対象者・送付時期

生後2か月を迎える子どもの家庭へ、個別に毎月末送付

● 内容

- ① 予防接種についての説明・受け方など
- ② 小学校就学前までの全ての定期予防接種の予診票・接種票を綴っている



◎メリット

保護者が接種のスケジュールを立てやすい
受けていない予防接種が分かりやすい

×デメリット

手帳の交付後に市外へ転出されると、残りの予診票等が無駄になってしまう

福岡市医師会との契約①

● 委託料

① 基本委託料

- ・医療機関からの請求のとりまとめや相談受付
- ・医療機関への情報提供や指導
- ・その他福岡市との連携をサポートする業務
- ・予防接種に関する研修会の実施等

に対する委託料（平成28年度：約2千2百万円）

② 人員割委託料

予防接種を行った件数に応じて、医師会を通じて各医療機関へ支払う委託料（平成28年度：約40億円）

● 人員割委託料単価について

毎年、次年度の委託料単価の交渉を行っている
主な交渉内容

- ① 診療報酬改定に伴う見直し
- ② ワクチン価格の変動に伴う見直し
- ③ 同時接種を行った場合の単価の設定 など

同時接種単価

(円)

	単独接種	同時接種
ヒブ	10,634	9,188
肺炎球菌	13,939	12,493

※B型肝炎や四種混合等、他の予防接種の同時接種単価の導入については、今後検討

予防接種記録の管理

- 平成24年度以前

予防接種の記録はExcelで管理

医師会が取りまとめた接種票を職員が1枚1枚チェックし、
疑義がある場合は医師会を通じて医療機関へ確認する

- 平成25年度以降

住民基本台帳と連動した予防接種管理システムを導入

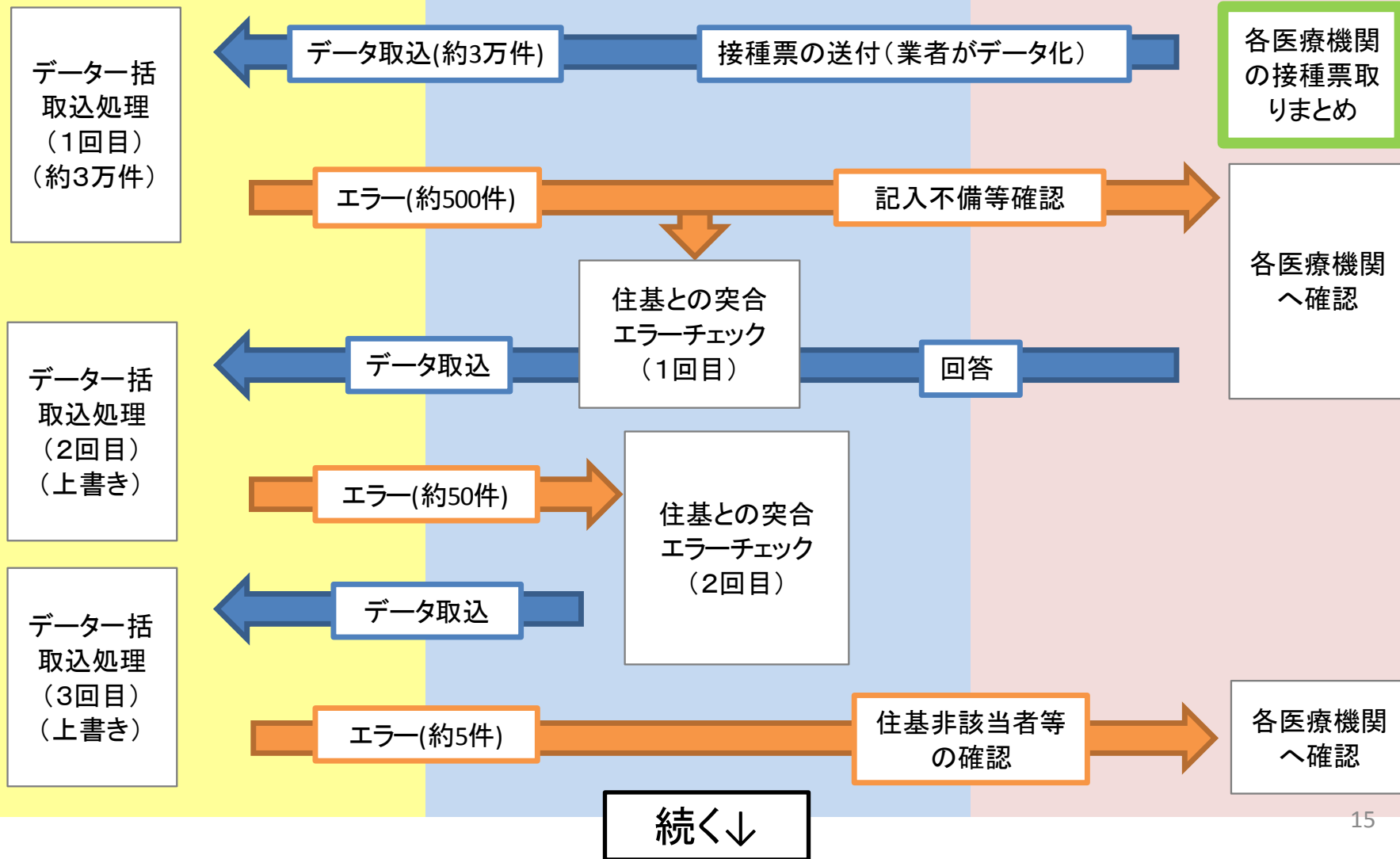
医師会が取りまとめた接種票をデータ変換業者が入力
データへ変換し、予防接種管理システムへ一括取込を行う
疑義がある場合は医師会を通じて医療機関へ確認する

委託料支払処理の流れ

予防接種管理システム

福岡市

市医師会

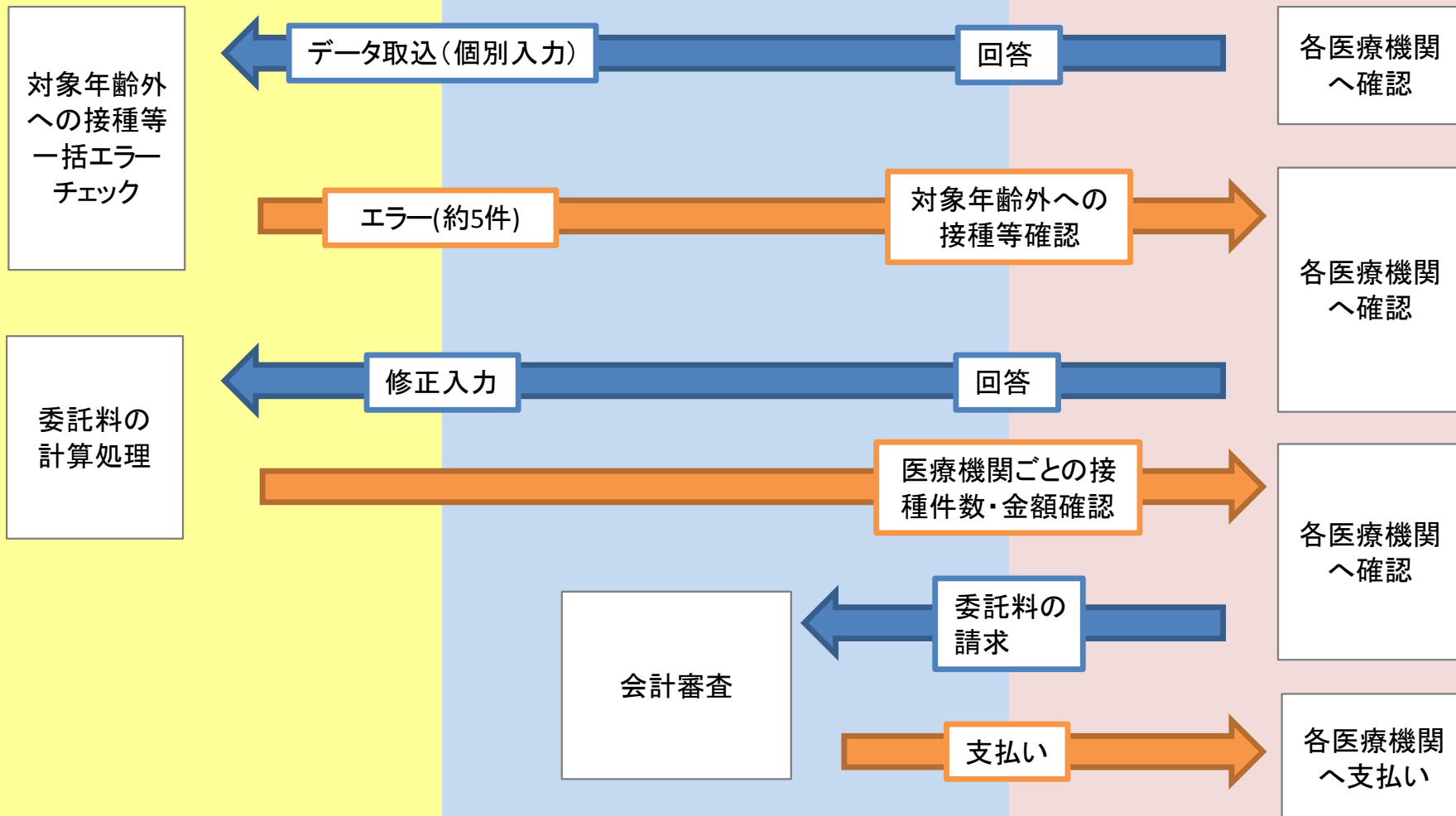


委託料支払処理の流れ(続き)

予防接種管理システム

福岡市

市医師会



- 予防接種管理システム

情報提供ネットワークとの接続なし

個人番号の参照のみ可能

中間サーバへの副本登録は、日次のバッチ処理により行っている

- 情報連携

情報連携は福岡市共通の「統合宛名システム」にて行う

- マイナポータルの「お知らせ機能」

お知らせ機能を利用した対象者への接種勧奨について検討中